ニュー・サウス・ウェールズ州ダボ市と岐阜県美濃加茂市による姉妹都市提携
逍遙園開園 20 周年記念に際する山上大使メッセージ
(2022 年 11 月 19 日)

マシュー・ディカーソン・ダボ市長、
シブリ・チョウダリー・ダボ姉妹都市委員会会長、
古川一男美濃加茂訪問団団長、美濃加茂市教育長、
渡辺孝男美濃加茂市議会議長、
板頭芳樹美濃加茂国際交流協会会長、

まず、最初にダボ市で先月洪水が発生し、多くの住民の方々が被害に遭われたことに心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧を願っております。

さて、美濃加茂市とダボ市との姉妹都市関係の象徴である逍遙園が本年、開園 20 周年を迎えられたことに對し心からお祝い申し上げます。

日豪関係は、現在、貿易や投資にとどまらず安全保障等を含め、広く深く進展しています。先月の岸田総理大臣の豪州訪問は、安全保障協力に関する新たな日豪共同宣言の発出を始め、両国間の特別な戦略的パートナーシップを新たな段階に進めるものとなりました。

首脳間の相互訪問は、確かに二国間関係の進展に大きな弾みをつけるものです。同時に、現在私たちが享受している日豪友好関係は、民主主義や法の支配といった基本的価値、そして戦略的利益を共有しているという貴重な共通項を有した上で、市民レベルの継続的な人的交流を通じた、心のより深い部分での相互理解と尊敬という強固な土台があってこそ、揺るぎないものになると考えています。

美濃加茂市とダボ市が、1989 年から 30 年以上にわたり交流を深められ、今日の日豪友好関係の基礎を築いてこられたことに、深い敬意を表します。また、美濃加茂市から寄贈された逍遙園が、両市による丹精込めた維持・管理のご尽力で、20 年を経た今も両市の姉妹都市関係の美しい象徴であり続け、また、ダボ市民の憩いの場として世代を越えて親しまれていることに感銘を受けています。

誠に残念ながら、今回は楽しみにしていたダボ市への訪問が叶いませんでした。いずれ逍遙園を実際に訪問し、両市の交流の歴史に思いを馳せながら石庭や茶室を巡ってみたいと強く願っています。

これまで培われてきた交流が、逍遙園開園 20 周年を機に一層広がり、美濃加茂市及びダボ市の姉妹都市関係、ひいては日豪両国間の友好関係の更なる発展につながることを祈念しております。

駐オーストラリア日本国大使 山上信吾